

平成 14 年 10 月 25 日

時習小学校児童、池袋東口で環境ボランティア活動 和太鼓たたいて「街をきれいに」

本日 25 日（金）、午前 10 時 30 分から約 1 時間、池袋にほど近い区立時習小学校（東池袋 2-51-4、大槻啓二校長）6 年 1 組の児童 26 名が、池袋駅東口駅前広場で、**和太鼓をたたいて通行人にポイ捨て禁止など環境美化を呼びかける、ユニークなボランティア体験活動**を行った。

時習小学校では、10 年度から、5・6 年生の**総合的な学習の時間**に、「日本の伝統的な文化を受け継ごう」と和太鼓を取り上げてきた。子どもたちの興味、関心も高く、太鼓をたたく高学年の姿は、いつしか中・低学年の子どもたちにとっても憧れの的。今年の 6 年生も最初は上手くできずに落ち込んだりもしていたが、「まめ」が出来るほど頑張ったり、先輩や友達の助けや励ましもあってだんだん上手くなり、自信をつけてきた。

一方、児童らは昨年度よりゴミゼロデーや地域クリーン作戦などに積極的に参加することで、毎日暮らす自分たちのまちを意識しはじめ、地元である池袋や豊島区に「**ごみの多い、きたない街**」というイメージが強いことに疑問をふくらませはじめた。さらに、時習小学校は**来年 3 月に統合により閉校**となる予定で、**今の 6 年生は最後の卒業生**となる。だからこそ最後の記念に、なんとか自分たちの手で豊島区をきれいにする手助けをしたいとの思いが子どもたちのなかに芽生えはじめた。

今回、同校 6 年 1 組の総合的な学習の時間のなかで、一生懸命頑張ってきた和太鼓と街をきれいにしたいという思いがつながり、「**街で和太鼓を演奏して環境美化を PR する**」というボランティア体験活動が実現の運びとなった。児童らはこの体験活動にあたり、環境美化を訴える手作りのカードも用意。色画用紙をふたつ折にしたもので、飛び出る絵本のような凝った造りになっている。「美しい町 豊島」「ゴミの分別は要注意!! キッチンと捨てよう」「地球を大切に よろしく!!」などと、**子供たちの言葉、絵、形でひとつひとつ作られたカード**からは、**子供たちの真剣な思い**がにじみ出ている。

午前 10 時 30 分に池袋東口駅前広場にある「大地の像」前に集合した児童らは、まずは 15 分ほどかけて東口駅前広場周辺を清掃。「ここにもあるよ」などと声をかけあいながら、植木のなかに捨てられたごみや、街路におかれた空き缶、電話ボックスのなかのビラなどを丁寧に拾ってまわった。

それが終わるといよいよ和太鼓による PR 活動をスタート。**元気な太鼓の音で人をひきつけ、足を止めてくれた人に環境美化を訴えよう**という子どもたち自身が考え出した PR 作戦である。横断歩道の真ん中にある緑地帯の前を人が通るタイミングを待ち、信号が青になるのにあわせて演奏と呼びかけを開始するかたちで、11 時 30 分までのあいだ演奏を繰り返した。今日演奏されたのは、和太鼓 4 台、締太鼓 2 台による「**勇み駒**」「**飛龍三段返し**」「**豊年太鼓**」など。1 回演奏が終わるたびに、興味を持ってくれた街の人に手作りのカードを配ってまわった。

小学生の演奏とは思えないメリハリのある音が池袋東口に響くと、**最初は遠巻きに見ていた人も次第に太鼓のまわりに集まりはじめ、時計を気にしながらも立ち止まって演奏に聴き入る、重そうなスーツケースを下げビジネスマンや、孫を連れた高齢者、外国人**などの姿が見られた。

今回の体験活動を行った児童は、「私たちの和太鼓を見て少しでもゴミを減らしたり、ポイ捨てしないようにしてくれたらいいなと思います。」「とても楽しかった。地球をきれいにすることを、豊島区という小さなところからはじめていきたい」などと話した。

詳細：時習小学校

